

東京トレッキングクラブ

T. T. C. 会 報 2022年3月号

会長：飯田隆一

<http://www.tokyo-trekking-club.jp/>

《 2月の山行計画（追加） 》

No. 3, 693 大戸緑地 草戸山 <C> L 堀江公

2月6日（日）9：30 JR高尾駅南口3番バス停集合 9：39 発 館ヶ丘団地行ー
9：50 館ヶ丘団地ー30分 権現平ー45分 草戸峠ー15分 草戸山ー10分 境川源流ー35
分 雨乞いの碑ー20分 上大戸バス停ー25分 館ヶ丘団地バス停

歩程：3時間＋1時間30分……4時間30分

地図：2.5万図“八王子”

費用：約1,000円（立川駅起点 電車＋バス）

申し込み：2月4日（金）迄に電話、LINE、Eメールへ

備考：新春陽だまり山行です。

橋本駅を利用する参加者がいる場合は上大戸バス停で解散です。橋本駅行バス
13:39、14:24、15:14、15:59 館ヶ丘団地～高尾駅は1時間に3本あります。

No. 3, 694 昭和記念公園 L 菊地玉記

園内を散策します。早春の蠟梅を見に行きませんか？

2月20日（日）青梅線西立川駅10時集合 水鳥の池ー草木園ー日本庭園ーこ
もれびの里ー原っぱ東花畑ー花木園ー立川口ーJR立川駅

申し込み：2月18日（金）迄 電話又はCメールでリーダーへ。

備考：昼食はお持ちください。

No. 3, 695 惣岳山 < B >

L 五十嵐知也

2月27日(日) 軍畑駅9:00 集合-1時間25分 556m点-20分 614m点-40分 惣岳山-35分 尾根分岐-1時間15分 沢井駅

歩程: 4時間15分+1時間30分……5時間45分

地図: 2.5万図“武蔵御岳”

費用: 約2,500円

申し込み: 2月25日(金)までにCメールでリーダーへ。

備考: 簡単なバリエーションですが、軽アイゼンを携行して下さい。+

《 3月の山行計画 》

No. 3, 696 要害山~赤ぼっこ < C >

L 菊地玉記

3月12日(土) 宮ノ平9:00 集合(新宿発ホリデイ7:44=8:44 青梅8:57=9:00 宮ノ平、立川発7:50=8:23 青梅8:57=9:00 宮ノ平)

宮ノ平9:10-20分 登山口-30分 要害山(414m)-40分 天狗岩-30分 赤ぼっこ-30分 二ツ塚-30分 登山口-40分 青梅駅

歩程: 3時間40分+1時間30分……5時間10分

地図: 昭文社“奥多摩”

費用: 約2,000円

申し込み: 3月10日(木)迄に電話又はCメールでリーダーへ。

No. 3, 697 倉見山 < B >

L 飯田隆一

3月12日(土) 富士急行線東桂駅8:50 集合(新宿6:17=7:01 高尾7:24=8:45 東桂) 歩き出し-20分 今宮神社登山口-45分 845m△-1時間30分 倉見山-35分 向原峠-30分 車道-1時間10分 寿駅

歩程: 4時間50分+1時間30分……6時間20分 15:15 寿駅に着く。寿駅発 15:38

地図: 2.5万図“都留、富士吉田、河口湖東部”、昭文社“富士山”

費用: 約4,000円

申し込み: までにメール、ショートメールでリーダーへ。

No. 3, 698 茅ヶ岳「日本百名山」の深田久弥が眠る山

L 飯島正子

3月19日(土) 蕪崎駅8:40 集合(7:00 新宿発スーパーあずさ1号松本行
=8:37 着) 8:50 タクシー=9:10 深田記念公園入口駐車場(トイレあり) -
9:30 歩き出し-1時間10分女岩-1時間茅ヶ岳頂上-20分石門-30分金ヶ岳
北峰-1時間10分扇平休憩舎-1時間ハイジの村、タクシーで蕪崎駅へ

歩程: 5時間10分+1時間……6時間10分

地図: 昭文社“金峰山・甲武信”

費用: 約10,000円

申し込み: 3月17日(木) までにメールまたはショートメールでリーダーへ。

《 12月の山行報告 》

No. 3, 674 柏木山～龍崖山 <C>

リーダーの都合で延期しました。

No. 3, 675 市道山～臼杵山

パーティー: 女性3名/男性5名 計8名

12月12日(日) 晴。登山ではよくあることだが、登り始めに元気で早く歩く人がいる。私はこれには賛成しない。自動車にしてもエンジンが充分温ってから加速するのが良い。山登りも最初ゆっくり歩き、体が山に慣れてから加速するのが良いと思う。

バスは満員で増車が出た。和田バス停から30分程、車道を歩く。陣馬山登山口が2か所、生藤山登山口1か所を過ぎてから醍醐峠登山口だ。満員だったバスの登山客は概ね陣馬山へ向い、ここまで来たのは我々だけだ。醍醐丸から市道山への吊尾根は自然林の気持ち良い道だ。市道山そして臼杵山への登りが長く感じられるのは年齢の故か。東の方向に刈寄山が見えてくる。この戸倉3山は長いねと話しながら臼杵山に着いた。日本山名辞典によるとウスギサンと読ませるそうだ。山名標示板もローマ字でそのようになっていた。

市道山から笹平への道は通行禁止となっていたが、この道はヨメトリ坂と呼ばれる急な道だ。昔は嫁入りなどに利用した道だろうか。興味深いネーミングだ。

臼杵山から荷田子へのグミ尾根も気持ち良い道で途中城山（戸倉城跡）への道を分ける。戦国時代にはこんな山上に城を造ったのだろう。今年も終わりに近いしコロナも下火なので、打上げをしたいと希望があり五日市駅近くの居酒屋でビールを飲み解散した。

和田バス停 8:40－醍醐丸 10:15－市道山 11:40－臼杵山 14:00－荷田子バス停 15:35＝武蔵五日市駅 (五十嵐 記)

No. 3, 676 小野子山から十二ヶ岳 < B >

パーティー：女性 6 名／男性 1 名 計 7 名

12 月 12 日（日）快晴。渋川からのタクシーを赤芝まで行き登り始めた。しばらくは静かなヒノキ林を進み姉ツツジ分岐に着いた。このツツジは赤芝の姉妹ツツジと呼ばれ群馬県の天然記念物になっている。姉ツツジは白ヤシオの巨木で樹齢 700 年だそう。小野子山に着くと林の間から谷川岳等の上越の山がチラチラ見える。中ノ岳までの鞍部までこれでもかというほど下る。中ノ岳で 12 時には間に合わないのので昼食にした。十二ヶ岳の直下には男坂と女坂があり我々は男坂を登り十二ヶ岳頂上に着く。沢山の地元のハイカーで賑わっていた。ここからの眺望は最高で新雪をつけた上越の山々、尾瀬、上州武尊山、日光の山々、振り向けば浅間山、遠くには八ヶ岳の赤岳が望めた。下りは女坂を通りじょう沢コースを下る。道路に出てすっぴりのんびりしてしまい、ゆっくりと歩き小野上駅について解散した。地震があつたらしいが気がつかなかった。

登山口 9:35－姉ツツジ分岐 10:30－小野子山 10:50～11:00－中ノ岳 11:50～12:10－十二ヶ岳 12:45～13:05－滝上 13:35－道路 13:50－小野上駅 15:10 (飯田 記)

No3, 677 石割山 < B >

パーティー：女性 4 名／男性 2 名 計 6 名

12 月 18 日（土）快晴。前日が寒波で雪が舞う天気で登山道の状態を心配してアイゼン、ストックの持参をお願いして出発。鳥居の先の長い石の階段は雪があると滑りやすいと判断して石割の湯からのハイキングコースを登る。富士見平からはゆるやかな林道。日陰は白い粉雪が落ち葉にかかって絵に描いたようで美しい。早々に富士山も木々の間から見え「今日はバッチリだね！」。そして石割神社に着く。

大きな岩の間を通り抜け、山の神様のふところに入った気分になる。樹林帯をひと登りすると石割山山頂に飛び出す。たっぷりの雪を纏った太っちょの大きな大きな富士山が目前に両手を広げ迎えてくれる。風をよけながらの昼食を

早々に終え、急な斜面を下り、平尾山へ向かう。霜柱が土を盛り上げ、サクサクしていてアイゼンをつけなくても大丈夫。でもすべりやすい道でストックを使って下り、平尾山に着く。やはり富士山の眺めがすごい。大窪山、大平山、飯盛山と木の階段を登り頂上へ。そして階段を下り次の山へと繰り返していく。でもどの頂上にも真正面に富士山があり、まさに導かれて楽しみながら次々と登り終えた。舗装路に出て山中湖畔沿いをホテルマウント富士入口バス停に着き解散。ありがとうございました。富士山と皆さんに感謝です。

石割の湯 10:20－石割山(昼食) 11:40～12:00－平尾山 13:00－大平山 13:35－湖畔 14:40－バス停 15:00 (飯島 記)

No. 3, 678 大仁田山 <C>

パーティー：女性5名／男性1名 計6名

12月18日(土)晴。唐竹橋バス停を降り、すぐ右の橋を渡り10分位で道標のある登山口に着いた。沢沿いの道から山道をジグザグに登っていき尾根に上った。愛宕山を下ってすぐ簡易トイレがあった。風が冷たい中、大仁田山へ着いた。下山は30m位下った所が二股になっており、左の道の木に古い鉄のプレートがあった。文字は見づらく、矢印があった。しかし右の落葉のトラバースの道の両側の木にはテープがしっかりまいてあった。右へ進んでいくと尾根が広くなり、落葉と落ちた木々でルートは全く見えず、広い尾根を進み、かすかな下山道を見つけた。これまで付いて来た猟犬とさがしに来た男性と別れ、バス停まで下った。

唐竹橋バス停 9:40－愛宕山 10:50－大仁田山 11:55－上赤沢バス停 13:08 (堅田 記)

《 役員会だより 》

- 1) ホームページに写真を掲載する場合について、“ホームページへの写真掲載については人物の顔がわからないようにした方が良い”と2022年2月号の会報に乗せましたが、この決定に異議が寄せられました。そこで決定を保留として会員の意見をもう少し聞くことにした。
- 2) 会則等の変更は現在検討中です。途中経過をお知らせします。考えとしては次の3点が基本です。a) 現在の会則には不備な点が多くあるが全面改訂はしないで部分改訂にとどめる。b) 会則を改訂する場合は総会に諮るが、細則と内規の改訂については総会に諮らずに役員会に任せてもらうことにする。c) 役員会には会員も出席可能にして特別に例会を開くことをやらない。
- 3) 50周年記念として会員にバンダナを配ることにした。バンダナは(株)スズキネに発注することにした。
- 4) 3月に配布する会報(5月号)に年会費とスポーツ保険の資料、振込用紙を同封する。

《 お 知 ら せ 》

- ☆ No. 3, 692 天王山～堂所山はリーダーの都合により中止します。
- ☆ 3月の役員会は3月2日(水)練馬区役所1905室17:00～19:00です。
- ☆ 4月の山行計画及び山行報告を1月31日(月)までに飯田まで提出してください。